



第 25 回

平成 29 年 1 月 30 日

No. 1416

会長 吉良昌一
幹事 穂田英一郎

例会日／毎週月曜日 12:30～

例会場／トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

会長スローガン

「誠心誠意」

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp
ホームページ : www.oita1985rc.jp2016-17年度
国際ロータリーのテーマ「人類に奉仕する
ロータリー」R I 会長
RI第2720地区ガバナー
大分第4グループガバナー補佐ジョン・ジャーム
前田眞実
前藤隆

■ 本日のプログラム（1月30日）

12:30	点 鐘	
	会 食	
	ロータリーソング 「四つのテスト」	
	ゲスト・ビジターの紹介 会長 吉良昌一	
	会長の時間 会長 吉良昌一	
	出席報告 出席担当 大久保修身	
	幹事報告 幹事 穂田英一郎	
	委員会報告 「関係委員会」	
	ニコニコタイム 高野 太	
13:00	全員協議会「クラブ運営資金について」	
	於:コンパルホール	

* 今週のお祝い

結婚記念日 宮本 洋一会員（2月2日）

■ 第24回例会の記録（1月23日）

リレートーク「新年の抱負」Ⅱ

・出席報告（1月23日）

会員総数	16名
1月23日	
出席免除	2名
出席会員数	6名
出席率	42.86%
ゲスト	0名
ビジター	0名
1月6日	
修正出席率	68.75%

ロータリーソング

【四つのテスト】

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

会長の時間 (1月30日) 会長 吉良昌一

2002年ワールドカップの思い出

大分トリニータがJ2復活！ナビスコ日本1の高松選手引退！今年はJ1へ！

サッカーJリーグTV中継が始まってから携わっている一員としてとっても喜ばしい1年になるのではと思う反面正念場の1年ではないだろうかと思います。

J2からJ3へは降格したくない。県民皆様で応援いたしましょう。

2002年W杯を思い出す出来事は公認キャンプ地日田市中津江村です。カメルーン代表チームの異常な遅延事件です。その当時私はある局の中継カメラマンとして中津江村でカメルーン代表チームを今や今かと待ち続けて12時間！到着したのが夜中の3時過ぎ！未明の到着にも拘わらず村民120名、おじいちゃん、おばあちゃんがカメルーン国旗の小旗を振って監督、選手を歓迎！この様子を全国、世界に発信しました。その当時の村長坂本さんの優しさあふれる笑顔、鯛生スポーツセンターの長谷所長さん、そして何よりもサッカーやカメルーンのことは知らないでもお客様を心から歓迎するという村民のおもてなししが多くのメディアの共感を呼びました。

W杯の大分開催により、別府や湯布院に代表される豊かな温泉、久住の美しい自然、豊後水道の海の恵み、歴史を直接発信出来たのはワールドカップではなかったのではないかでしょうか。

リレートーク「新年の抱負」 II

坂本・高野・河野会員

ロータリーの奉仕活動

ロータリーの友 1月号

ロータリークラブに入会したら、「奉仕」という言葉をよく耳にするようになったと思います。ロータリーでは、奉仕を、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」の5つに分けて、「五大奉仕部門」と言います。それぞれの内容については、「標準ロータリークラブ定款」に書かれていますから、下記にご紹介します。

第6条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に住居する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第4部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力す

ることを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

このように紹介すると、ちょっと難しいなと思う方もいらっしゃると思いますが、何度も読み返して、自分なりにしっかりつかんで下さい。

しかし、実際に実施している個々の活動に当たはめると、その活動がこの中のどこに属するのか判断できないものもあります。分け方は、いろいろあります。同じ活動でも、クラブによって担当する委員会が違う場合もあります。

ロータリーを知るためにには、また、クラブや地区で活動をする時には、奉仕をこのように分類して考える必要があります。しかし、本当に大切なのは、「誰かの役に立ちたい」「手助けをしたい」という思い、他人に対する思いやりや優しさなのだと思います。

奉仕は、決して難しいことではありません。大変なことでもありません。気がつかないうちにやっていることが多いと思います。ご家族に「ありがとう」と言葉をかけること、それが奉仕の第一歩かもしれません。

「友」編集長 二神 典子

ニコボックス

★河野 聰会員（自主1口）

日田事務所が今年で10年ですが、日田常駐弁護士柿木 大が21日に結婚披露宴を開き、私は新婦のリクエストでSEKAI NO OWARIの「RPG」を歌い盛り上りました。自己満足で1口。

★高野 太会員（自主1口）

「フィリピンの子どもにシューズを送ろう」プロジェクト、無事フィリピンの子どもにシューズが届いたと連絡がありました。感謝を込めて一口。

★高橋道成会員（自主1口）

毎年1月16日前後に東京に行っており、先週は欠席しました。東京に行った際は明治神宮に参拝するのですが今年もたくさんの参拝客でごった返しており、東京が活性しているのを目のあたりにしてパワーを頂きました。地元でがんばろうと奮起したので1口させて頂きます。